

## 令和元年度第4回岡崎市子ども・子育て会議 議事録

日 時：令和2年2月21日（金）14：00～15：10

場 所：岡崎市役所分館3階 大会議室

出席委員：13名

大岩みちの（会長）、笠井奈緒美、城殿泉、石川基司、安藤徹也、  
長坂尚希、花田直樹、荒河昌吾、猪飼由美子、平野敏雄、稲垣ちえみ、  
東海林美由紀、中西恵美

欠席委員：2名

古田学、加藤雄一郎

傍聴者：なし

1 開会

2 議題

おかざきっ子 育ちプラン（第2期岡崎市子ども・子育て支援事業計画）について

3 報告

4 閉会

《主な質疑、意見など》

議題 おかざきっ子 育ちプラン（第2期岡崎市子ども・子育て支援事業計画）について

事務局から資料により説明

会 長： 私立幼稚園が認定こども園への移行する計画が1年後ろ倒しになったとのことですが、その理由がお分かりでしたら教えてください。また、私立幼稚園が認定こども園に移行することについて、どのようにお考えですか。

委 員： 移行予定の園の計画のため理由は分かりませんが、認定こども園へ移行することについての方針や考え方は、私立幼稚園によって異なると思います。今後、保育の受皿や体制の整え方について、どのような形が一番望ましいか、私立幼稚園協会の中でも積極的に意見交換できればと思います。昨今、私立幼稚園においても2号認定が増えていますので、幼稚園の中でも工夫していければと思っております。

委 員： 学校教育の中でタブレットが配られるという説明がありましたが、素晴らしいことだと思います。また、不登校児に対するフリースクールについて、事業計画案の中で記述がないかと思いますが、この点についてはどうお考えでしょうか。

委 員： 文部科学省から10月25日付けの通知において、不登校児童生徒への支援の在り方について、学校復帰を目指すのではなく社会的な自立を、という大きな転換がございました。それを踏まえ、教育委員会の施策として、来年度子どもの多様性に対応した校内フリースクールを中学校3校をパイロット校として設置し、関係機関と連携を図りながら運用しその成果や課題を検証していく予定と聞いています。学校現場の者として、この取組が子どもの多様性に対応できる制度となることを期待しているところです。

事務局： 計画案としては、97ページ、基本施策7の(5)いじめや不登校などの児童生徒への対策の充実の中で、関係機関と連携し、不登校対策を推進する旨を記載しています。

(計画案について挙手により採決)

会 長： 全会一致で、計画案を承認いたします。

閉会 (15:10)